

## ご挨拶

日本医科大学千葉北総病院 副院長・看護部長

片岡 ひろみ

今年の夏は例年になく記録的な猛暑が続き、全国的に熱中症の患者さんが相次ぎました。地域医師会の諸先生におかれましては、日頃より日本医科大学千葉北総病院に多大なご支援をいただきまして厚く御礼申し上げます。

ここ最近のニュースでは今般、東京都の医療施設において、多剤耐性アシネトバクター・パウマニの院内感染事例が公表されました。連日、これらのニュースは、メディアで大きく取り上げられ、厚生労働省医政局指導課からも各医療施設に対して多剤耐性アシネトバクター・パウマニ等に対する院内感染対策の徹底の通知がありました。

当院では病院感染対策委員会の日野委員長を中心に細菌検査の結果で耐性菌が検出された際の病院感染対策委員会への報告ルートを確立し、それに基づき病棟ラウンドを行っています。また、病棟ラウンドの目的の一つには抗生物質が正しく使用されているか監視するという内容もありますので耐性菌を作り出さない、

広げないという取り組みに力を入れています。昨年より、全国の耐性菌の感染率と当院の感染率を比較できる厚生労働省サーベランスシステム（JANIS）の登録も行いました。

看護部の取り組みといたしましては、新人看護職員の卒後研修の充実が求められている今、地域医療の向上と連携強化を図るため、当院の看護師卒後教育の一部を地域の医療施設の新人看護師の方にも研修を公開しております。摂食嚥下の看護、ボディイメージ変化への対応、ペインコントロールのコースです。また、創傷管理、褥瘡症例検討会、脆弱な皮膚のスキンケアのスキルアップコースも他施設からの参加を昨年より受け入れております。地域の方が参加しやすいような曜日や時間帯に開催しております。広報いたしますので多くの方の参加をお待ちしています。

医療連携室は専任看護師が今年度より1名から2名体制に、ソーシャルワーカーが2名より4名体制になり、退院支援の強化、更なる地域医療連携の強化に取り組んでおります。

今後とも医師会の諸先生方のご支援ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



## 消化器内科の現況

消化器内科 病院講師 琴寄 誠 (ことより まこと)

日頃より多数の患者様をご紹介頂きありがとうございます。お陰様で当科外来は大変賑わっております。腹痛などの消化器症状を訴える外来患者は大変多いのですが、その割に外来数は少なく患者様を長時間お待たせすることとなり、待たされた患者様のストレスとも戦っている状態です。ときには紹介でなく来院した尿管結石などの消化器以外の疾患への対応をせざるを得ないこともあります。外来を増やそうにも医師が6名（うち1名は専修医）しかおらず、また、診察室数も不足していることからすぐに対処できません。予約外来につきましても、入院患者への対応も必要でありますので予約患者数をあまり増やせず満杯の状態であり、予約を取ろうとしても2ヶ月先となっております。さらに、付属病院の医師の応援も得ておりますが、上・下部消化管内視鏡検査の予約もほぼ1ヶ月先となっております。各方面の方々にご迷惑をおかけしております。しかしながら、早期胃癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）、総胆管結

石に対する内視鏡的乳頭切開術（EST）などの内視鏡的治療や小腸出血が疑われる患者に対するカプセル内視鏡検査も充実してきておりますし、C型慢性肝炎に対するインターフェロン療法も積極的に行っております。これからのできる限り皆様方のご要望に答えますよう精一杯努力してまいります。容態が落ち着いた患者様につきましては皆様方にご紹介することもあるかと思いますが、その際は何卒ご協力をお願い申し上げます。なお、患者様のご紹介はなるべく月・水・木曜日の初診外来にお願い申し上げます。



## 子供の背が伸びないと言われたら

小児科 医局長 浅野 健 (あさの たけし)

**子供の背が伸びない。身長をグラフに記録して成長を確かめてあげて下さい。**

「友達に比べて小柄すぎるのではないか?」、「うちの子、成長が遅れているの?」と、気になっているお母様が来院された時、標準の伸び方からどのくらい外れているかを確かめてあげて下さい。

身長を測りましたら、母子健康手帳についている乳幼児身体発育曲線や、インターネットなどでダウンロードできる成長曲線、製薬会社が頒布している成長曲線に記入してください。患者さんの過去の身長の記録も同様に記入し、伸び方も確かめてください。今の身長が乳幼児身体発育曲線で3パーセント以下、もしくは成長曲線で標準偏差マイナス2SDよりも低い場合や、伸び方のカ

ーブが標準のラインと違う角度を描いている場合は治療が必要な病気が隠れていることがあります。

背が伸びない原因で一番多いのは、家族性のものです（両親の身長が小さい）。その他に成長ホルモン分泌不全性低身長症や、脳腫瘍や甲状腺疾患で身長の伸びが悪くなっていることもあります。女子の極端な低身長の原因には、ターナー症候群の場合もあり、中耳炎を起こしやすいことや、将来、卵巣機能不全や心臓病、骨粗鬆症などが起こりやすいため、早期発見と適切なフォローが必要です。また、虐待、栄養障害をきたした場合も、伸びが悪



くなります。反対に、就学期前後なのに、背がぐんぐん伸び出す患者さんでは特発性思春期早発症が考えられます。気になる患者さんがおりましたら当院小児科に御紹介していただくと幸いです。

#### ◆タイミングを逃さず早めに相談を

当院の小児科では、もう少し詳しく調べたほうが良いと判断した場合は入院していただき精密検査を行います。受診のタイミングを逃すと、二次性徴が始まり、その後、骨端線が閉鎖してしまい、身長伸びが止まってしまう。可能な治療が手遅れになるのだけは避けたいと願っております。

#### ◆成長ホルモン分泌不全性低身長やターナー症候群の場合

上記のような疾患による低身長の場合は成長ホルモンを毎晩寝る前に自己注射で補充する治療法があります。成長ホルモン投与で背が伸びていくと同時に、筋力も付い

て運動能力も上がり、元気になる子が多いです。もし疑わしい患者さんがおりましたら是非、当院小児科に御相談下さい。



## 病理検査とホルマリン

病理部 係長 清水秀樹 (しみず ひでき)  
同 部長 大秋美治 (おおあき よしはる)

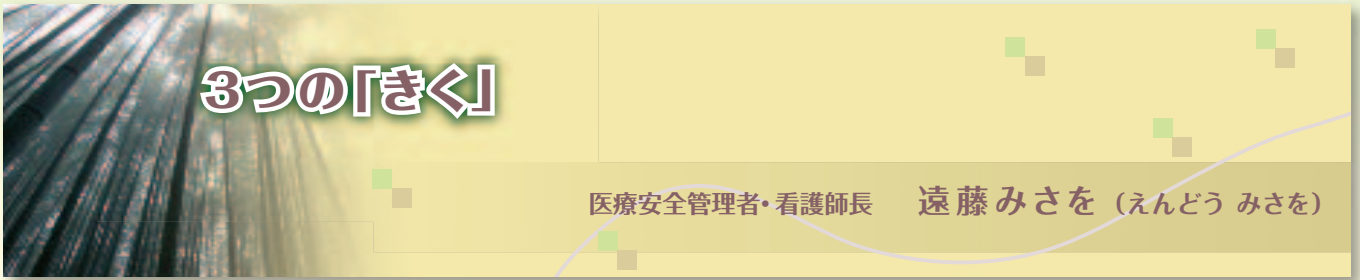
病理検査では、病変部から採取した組織を固定液に浸漬します。この固定液には百年以上の昔からホルマリンが使われており、現在も病理診断に欠かすことのできないものとなっています。病理学のご経験のある先生方の中には、ホルマリン臭気に悩まされ方や、逆に親近感を覚えられる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。しかし、このホルマリンの主成分であるホルムアルデヒド（以下、FA）は、2004年WHOにより、高濃度長期暴露で鼻咽頭癌を発生させる発がん性物質であることが報告されました。また、文献的には生殖毒性や胎盤通過性による胎児への影響に加え喘息や皮膚炎の報告もあります。社会的にはFAはシックハウス症候群や化学物質過敏症の原因物質の1つとされ、住環境においては厳しく管理されています。平成18年度 厚生労働省が行ったFAを使用する職種の労働環境調査の結果、労働安全衛生法・特定化学物質障害予防規則による気中濃度低減措置の規制強化の必要性が明らかにされました。医療施設においては病理検査室が法の適用をうけますが、開業医、内視鏡室、外来などの少量取り扱いについては、厚生労働省より通達\* が出されております。通達では作業方法によるFAの発散防止を行うことにより、局所排気装置の設置

義務など法の適用を受けない項目があることが書かれています。発散防止方法として（1）固定するときだけ蓋をあける。固定を終えたら速やかに蓋を閉める。（2）小分け、分注作業は医療現場で行わない（換気の良い場所で、周囲に人のいない時間に行う）。（3）医療現場には必要量のみ置く（図1）。（4）FAが付着したゴミなどはビニール袋に入れ、その後、蓋付きごみ箱に捨てる。（5）FAの吸着剤や代替え品を効率よく利用する などをを行うことが大切です。FAによる健康障害防止はFAを不必要に発散させないことがポイントです。

\*[労働安全衛生法施行令の一部を改正する政令及び特定化学物質障害予防規則等の一部を改正する省令の施行に係る留意点について]基安発第1119001号、基安発第1119002号



図1 作業場には必要量のみを置く



医療安全管理者・看護師長 遠藤みさを (えんどう みさを)

前回、「病院の言葉」では、伝えることについてお話をさせて戴きました。今回は、コミュニケーションの上で、「話す」よりも大切といわれます「きく」について触れたいと思います。病院の日常でも、「きく」ことの不足からクレームやトラブルに至るケースも少なくはありません。リスク・コミュニケーション全体では、この「聴く」に更に重要な意味を持ちます。3つの「きく」には、今更ではありませんが、

1. 「聞く」(hear) — 通常の「聞く」(あるいは、聞き流す) — 聞く → 「答える」(耳で聞き、口で答える)
2. 「聴く」(listen) — 耳を傾けて積極的に聴く — 聴く → 「応える」(耳と心で聴き、心で応える)

この聴く態度が話し手を動かすことになり、技術が必要となります。

「傾聴」の基本となるものには、

- ・ 純粋性…聞き手が自分の体験している様々な感情、例えば相手が理解できない時には判らないことを隠すのではなく、その気持ちを正直に表明すること
- ・ 無条件の積極的関心…「あなたがこれこれ言う場合にのみあなたが好きだ」という感覚がないこと
- ・ 共感的理解…「もし自分が相手の立場なら」と考えて理解することの3つがあります。

更にもう1つ「きく」：訊く(質問する)であり、これ

は、**閉じた質問**…はい、か、いいえで答えられる質問、また、事実で答えられる質問であり、情報を引き出すには優れていますが、会話は続きません。一方、**開いた質問**…なぜ?どのように?と問うてみると会話は長続きしますが、情報が確実に得られるとは限りません。この3つの「きく」の正に「聴く」ことこそが危機管理と言っても過言ではないと考えています。

#### 「コミュニケーションにおける10の大罪」

- ① 準備不足の印象を与えること
- ② 質問を不適切に取り扱うこと
- ③ 自分自身あるいは所属組織に関して謝罪すること
- ④ 知ることのできる情報を知らないこと
- ⑤ 視聴覚機材の取り扱いに未熟であること
- ⑥ スケジュール外の印象を与えること
- ⑦ 参加者を関与させないこと
- ⑧ 共感的な関係を築けないこと
- ⑨ 十分に計画/組織されていない混乱した印象を与えること
- ⑩ 間違った情報を提供すること

何にかのご参考になればと思い、ご紹介いたしました。これらを直ぐには難しいことですが、明日からできる「傾聴」と「開いた質問」。とは言え、わが身を振り返れば…。日々精進の一言に尽きます。

## 日本医科大学千葉北総病院の理念

### I 日本医科大学の教育理念と学是

教育理念：愛と研究心を有する質の高い医師と医学者の育成  
 学 是：克己殉公 (私心を捨て、医療と社会に献身するとの意味)

### II 病院の理念

患者さまの立場に立った安全で良質な医療の実践と人間性豊かな良き医療人の育成

### III 病院の基本方針

1. 患者さまの権利を尊重します
2. 患者さま中心の医療を実践します
3. 患者さまの安全に最善の努力を払います
4. 救急医療・高度先進医療を提供する指導的病院としての役割を担います
5. 地域の保健・医療・福祉に貢献するため、基幹病院としての役割を担います
6. 全ての人のために健康情報発信基地を目指します
7. 心ある優れた医療従事者を育成します
8. 先進的な臨床医学研究を推進します

### 患者さまの権利

1. 人間として尊重され、平等で最善の医療を受けることができます
2. 患者さまの医療における安全は保障されます
3. ご自分の病気、受ける医療について、十分理解できるように説明を受けることができます
4. 説明を受けた医療について、ご自分で選ぶことができます
5. ご自分の診療記録を知ることができます
6. セカンドオピニオンを希望される場合は、必要な情報提供を受けることができます
7. 患者さまの個人情報を守られます

## ドラッグ・ラグ解消に向けて

治験推進室専任看護師 渡辺千恵子 (わたなべ ちえこ)

平素より日本医科大学千葉北総病院治験推進室への御理解と御協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

厚生労働省の「有効で安全な医薬品を迅速に提供するための検討会報告書（平成19年7月）」においては、「ドラッグ・ラグ（欧米で承認されている医薬品が我が国では未承認であって国民に提供されない状況）」解消のためには、国際共同治験の推進を図る必要があり、承認審査の観点から必要な国際共同治験実施に当たっての基本的考え方を明らかにする必要がある旨が指摘されています。

実際に当院でも国際共同治験を実施していますが、英語での対応（履歴書・IVRS（Interactive Voice Response：音声による自動応答を行なうコンピュータシステム）による治験薬の割付・EDC（Electrical Data Capturing：電子的臨床検査情報収集システム）入力・クエリー対応・その他書類や伝票）、検体の海外への発送、検査機器の搬入、などが国内治験に比べると煩雑になります。

また治験薬の包装形態も、錠剤薬がチャイルドロック機能付きプラスチックボトルやシェルパックに入ってい



ることが殆どであり、日本では馴染みの無い形態である為に患者様にとの様に説明をすれば服薬コンプライアンスが良好に保てるか毎回頭を悩ませています。「関節リウマチ疾患対象の治験薬がチャイルドロック機能付きボトル包装だった時には唖然とした」という話のある治験コーディネーターから聞いたこともあります。

治験関係者対象のシンポジウムでも演題として「国際共同治験の問題点と今後の課題」を取り上げる施設が多く、どの様に言語や文化の違いを乗り越えて質の高い治験を実施していくかは日本中どここの施設も課題となっている事に気付かされます。

国際共同治験を実施する上で、言語や文化の違いのみならず、それらに対する先入観や苦手意識が実際のハードルを高くしてしまっている感も否めません。しかし、日本が国際共同治験に参加することで日本の薬剤治療レベル向上に貢献し、薬を待ち望んでいる患者様に治療を提供する事ができます。そのベネフィットのために日本全国の参加施設ならびに日本医科大学千葉北総病院も尽力して参りますので、諸先生方には今後とも御指導、御鞭撻のほど宜しくお願い致します。



### 結核研修会

日時 ● 平成 22 年 10 月 22 日 (金)  
18:00~

場所 ● 災害研修センター

講演 ● 結核の診断と治療  
~最近の結核の特徴と QFT~

講師 ● 増山英則先生  
(国際医療福祉大学教授・(財)化学療法  
研究所付属病院呼吸器センター部長)

主催 ● 千葉県

共催 ● ちば県民保健予防財団  
千葉北総病院医療安全管理部  
病院感染対策委員会

(問い合わせ) 看護管理室



### 催し一覧



### 第 18 回医療安全管理講習会

日時 ● 平成 22 年 11 月 18 日 (木)  
17:15~19:00

講演 ● 医事紛争におけるメディエーション  
の有用性とその方法論

講師 ● 弁護士 大磯義一郎先生  
(加治・木村法律事務所)

場所 ● 日本医科大学看護専門学校体育館

主催 ● 医療安全管理委員会・  
医療連携室委員会

### 医療連携協議会・懇親会

日時 ● 平成 22 年 11 月 4 日 (木)  
19:00~21:00

場所 ● ウィシュトンホテルユーカリ

(問い合わせ) 医療連携室・鈴木順一



### 褥瘡 症例検討会

日時 ● 平成 22 年 12 月 1 日 (水)

場所 ● 大会議室

主催 ● 褥瘡対策委員会

(問い合わせ) 看護管理室



### 緩和ケア委員会 秋季講習会

日時 ● 平成 22 年 10 月 23 日 (土)  
14:00~16:00

特別講演 ● 在宅緩和ケア  
~現場からのメッセージ~

演者 ● 大磯義一郎先生  
(医療法人社団修生会さくさへ坂通り診療所 院長)

一般講演 ● ~医療連携を考える~  
在宅移行が可能になったイレウス  
を併した一例

場所 ● 大会議室

主催 ● 緩和ケア委員会、印旛市郡医師会、  
印旛郡市薬剤師会、千葉県病院薬劑  
師会印旛支部、塩野義製薬(株)、  
ムンディファーマ(株)

(問い合わせ) 看護部・古山めぐみ



### 第 22 回千葉県小児神経懇話会

日時 ● 平成 22 年 11 月 6 日 (土)  
13:00~

場所 ● 大会議室

(問い合わせ) 小児科・藤野 修



### 緩和ケア委員会 学習会

日時 ● 平成 23 年 1 月 20 日 (木)  
17:30~18:30

テーマ ● せん妄  
~一般論と緩和ケアのかかわり~

講師 ● 池森紀夫(メンタルヘルス科)

場所 ● 大会議室

(問い合わせ) 看護部・古山めぐみ

### 編集後記

異常に暑かった夏が去ったと思えば、急に涼しすぎる秋が訪れ、体調に悪影響を及ぼしそうです。今年も11月4日(木)に医療連携協議会と懇親会を開催します(ウィシュトンホテル・ユーカリ)。協議会では千葉県の医療方針と地域連携パスについて企画しておりますので大勢の医療関係者のご参加をお待ち致します。(広報委員会委員長・医療連携室副室長 畑 典武)



本広報誌についてご質問あるいはご意見のある方は下記までご連絡下さい。

日本医科大学千葉北総病院 医療連携室  
〒270-1694 千葉県印西市鎌苅1715  
電話 0476-99-1810/FAX 0476-99-1991  
e-mail:hokusou-renkei@nms.ac.jp

編集: 日本医科大学千葉北総病院  
広報委員会、医療連携室  
印刷: 伊豆アート印刷株式会社  
発行: 2010年10月(季刊誌)